



「森友学園」疑惑

真相の解明に 全力でがんばる

日本共産党

真相解明をと2500人が集まった3月18日ヨドバシカメラ前での街頭演説

日本共産党は、山本一徳豊中市議が昨年8月から、無所属の木村真市議と協力して国有地格安疑惑を追及、今年2月15日には、国会で宮本岳志衆院議員が口火を切り、清水忠史衆院議員、小池晃参院議員・書記局長、辰巳孝太郎参院議員・森友学園疑惑追及チーム責任者、大門実紀史参院議員らが連続追及。大阪府議会、大阪市議会、豊中市議会でも真相究明に奮闘しています。

「深さ9.9メートル」に廃材等はナシ 8.2億円積算の根拠崩れる

辰巳孝太郎参院議員の質問で

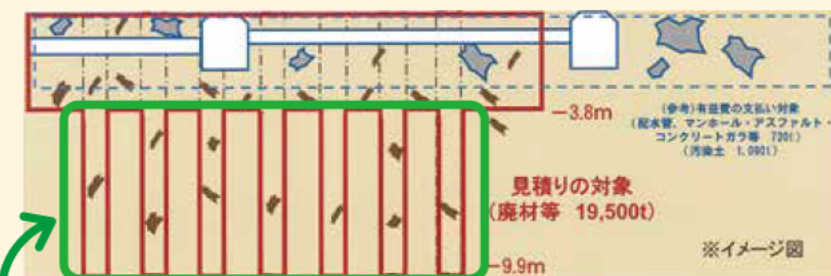


疑問と批判が集中する8.2億円の値引き。辰巳孝太郎参院議員は、3月24日の参院予算委で、「国は杭部分で9.9メートルまで廃材・廃プラなどのゴミがあると積算しているが、9.9メートルにはゴミはない」と指摘しました。

辰巳議員は、森友学園が行ったボーリング調査を国立研究開発法人「産業技術総合研究所」に分析を依頼。「深さ3メートルまでは人工的に埋めたてた埋設土からなり、それより深い部分が天然の堆積物と思われる」と判定されたと説明。「専門家は9.9メートルの深さでゴミが出ないのは「常識的な話し」だと答えている」と強調しました。

さらに、辰巳議員は27日の予算委で、国土交通省が2010年に地下構造物調査をしていることを追及。国交省は「レーダー探査し、68カ所で試掘した。試掘の深さはおおむね3メートルで、地下埋設物がなくなる深度だ」と答弁。おおむね3メートル以下はゴミがなかったことが裏付けられました。

「架空ゴミ」の処理費見積ともいえ、徹底解明が求められます。



国の説明図（赤線で囲んだところを対象に見積もっていますが、**9.9mの杭部分は天然の堆積物層で、廃材などはありません**）

籠池氏から夫人付への手紙での要望 安値売却など、満額回答の結果だった

大門実紀史参院議員の追及で鮮明に



大門実紀史参院議員は、3月28日の決算委で、籠池理事長が、2015年10月26日に安倍首相夫人付職員に郵送した依頼文を明らかにし、森友学園の要望が全て実現していることを指摘。「国民は、政治家、政権、官僚によって不当な安値売却がされていると怒っている。関係者の証人喚問で真相解明を」と強く求めました。

大門議員は、同依頼文で①籠池氏は定期借地契約を結んだが「定借10年は短いので早い時期に買い取る契約に変更を」と求めているが、この要求は8ヶ月後に実現している。②賃料を「半値にする」ことを求めているが、その後行われた売却の価格は1億3,400万円で、10年分割払いにしている。そのため月額100万円程度の負担になり、月額227万円だった賃料の半値になっている。この要求も実現している。③ゴミ撤去費の立て替え払いの早期返金の要求も、2016年度が始まった直後の4月6日に返金している。「満額回答だ」と指摘。安倍政権の「ゼロ回答」との言い訳に道理がないことが鮮明になりました。

大門議員が示した籠池氏の手紙抜粋

内閣総理大臣夫人付
谷査恵子様
小学校敷地の件について

小学校用地として豊中市野田1501の国有地を買売予約附定期借地として契約。
(国土交通省航空局の土地)
交渉先は近畿財務局
…(略)…

学校が事業用地で定借10年は短かすぎ
(10年以内に買い取りし、それができなければ建物を取りこわして現状に復する)、
10年で買い取るつもりではあるが、事業環

境が変わったりするのでやはり50年定借として早い時期に買い取るという形に契約変更したいのです。
…(略)…

安倍総理が掲げている政策を促進する為に
※国有財産(土地)の賃借料を50%に引き
下げて運用の活性化を図るということです。
※学校の用地が半値で借りられたらありがたいことです。
…(略)…

新聞記事と当方の契約書を同封いたしますのでよろしくをお願いします。
籠池 拝 印

